

市民活動団体紹介

札幌市市民活動サポートセンター登録団体をご紹介します。
このコーナーは編集ボランティアスタッフが担当しています。

新渡戸稲造記念さっぽろがん哲学外来

3人に1人ががんで死ぬ時代。告知された約3割がうつ症状になるといいます。病気になる必要はないはず。心の苦しみを軽減しながら、一日一日を充実して生きる道もあるのです。当会は2ヵ月に一度、幅広いテーマの講演を聞いたあと、出席者で話し合っています。がん患者・家族、看護師や会社経営者など会員があなたの話をお聴きします。ふれあいの中から、ぜひ、豊かに生きるヒントをつかんでください。



▲古武道に詳しい大学教員の講演「礼法としての武から、こころからだについて考える」

【問い合わせ】 jnakaz@agate.plala.or.jp (中里) FAX:0164-58-8800

るるる♪キッチンガーデンくらぶ

札幌園にお住まいの方は都市型の生活を送る人が多く、地元の食材や生産者とふれ合う機会が少ないのが現状です。そこで私たちは生産者のもとにお邪魔し農作業体験や料理教室を組み合わせ、レジャー感覚で楽しく参加できるような食育のイベントを行っています。食と農を楽しむこの会も生産者や地域の方々の協力のもと今年で5年目を迎えました。3月26日には厚田の漁師さん直伝、ニシンをさばいて刺身を作るイベントを行います。小骨が多くて敬遠しがちなニシンの美味しさをぜひ体験して欲しいです。



▲いくらをほくして醤油漬けを作る子どもたち。参加は親子連れに限らず、お1人さまでもOK♪

【問い合わせ】 URL: <http://rkgc.jp/> kurihara@iesu.co.jp

NPO法人さっぽろ福祉支援ネットあいなび

「交通弱者」＝障がい、病気、要介護などにより、自家用の交通手段がなく移動がままならない方々に気軽に外出してもらい、楽しく生活してほしいという思いから「福祉移動支援事業」をメインに活動しています。介護保険外のサービスなので用途の制限がなく、通院に買い物に旅行にと、自由にご利用いただけます。ストレッチャー対応の福祉車両もあり、寝たきりの方の外出も可能です。会員制ですので、利用ご希望の方はお問い合わせの上、ぜひ会員登録を!



▲ストレッチャー対応の福祉車両と代表の下川原さん

【問い合わせ】 011-582-8982 (下川原)

リンゴの詩川柳会

川柳は、表現が俳句に比べると自由であり、五七五のリズムで人情を詠み、人や社会を風刺する口語体の詩であるといえます。私たちは、句会を毎月開催し、また柳誌「リンゴの詩」や「札幌句会」等の機関誌の発行も行っています。更に、豊平区の芸術祭に参加して地域の芸術文化の発展に寄与すると共に、モンゴルやフランス等の国々とも川柳を介しての文化的交流も行ってきました。



▲台湾川柳会の杜青春会長が来道した際の句会記念写真

【問い合わせ】 011-813-4461 (八木)

北海道野鳥愛護会

自宅の庭やベランダに来る小鳥たちを見て、もっと鳥のことが知りたくなった人は、探鳥会に参加してみたいのが良いでしょう。北海道野鳥愛護会が年25回ほど開催している探鳥会には、さえずりだけで鳥の種類が分かる人、遠くにいる小さな鳥を見つけられる人など、鳥見のベテランたちがいて、鳥の世界の案内人になってくれます。また、会で年4回発行している「北海道野鳥だより」には珍しい鳥の観察報告なども掲載されています。4月の探鳥会は17日、モエレ沼。詳しくはホームページをご覧ください。



▲11月に野幌森林公園で行われた探鳥会の様子

【問い合わせ】 URL: <http://www.aigokai.org> BRB32264@nifty.com

学生団体Be-Harmony

私たちは北海学園大学の学生団体で、学区内で行うつながりの深い平岸地区の活性化を図る活動をしています。4年前、平岸の発展のシンボルであるリンゴをモチーフに、ご当地キャラクター「リンゴマン」を生み出しました。以来、地域のイベントを盛り上げるヒーローとして愛されています。商店街を身近に感じてもらうとグルメマップを作成したり、最近ではゴミのポイ捨て禁止の啓発活動に取り組んでいます。平岸が住みよい街であるように、アイデアを出して頑張っています!



▲平岸のアピールのためなら、どこでも参上しちゃうぜ!

【問い合わせ】 beharmony.h@gmail.com

みんなのしみサポ 42号

- ◆発行日: 平成28年3月
- ◆発行: 札幌市市民活動サポートセンター
- ◆指定管理者: (公財) さっぽろ青少年女性活動協会
- ◆住所: 〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ公共4施設2階
- ◆アクセス: JR札幌駅北口より徒歩3分 (札幌駅北口地下歩道12番出口横から直通)
- ◆電話: (011) 728-5888 ◆FAX: (011) 728-7280
- ◆HP: <http://www.shimin.sl-plaza.jp>
- ◆facebook: <https://www.facebook.com/shimin.sl.plaza>



みんなのしみサポ 編集ボランティア活動の様子



私たち編集ボランティアも風呂敷の活用術をいろいろ教えてもらいました!

体験取材「市民活動ズームイン」の醍醐味は、なんといっても未知の世界に飛び込めること。誰かのために何かのために頑張っている人たちとの出会いは、とっても刺激的です!

「みんなのしみサポ」は編集ボランティアスタッフと札幌市市民活動サポートセンター職員が協力して作成しています。



みんなのしみサポ

札幌市市民活動サポートセンターだより



市民活動団体登録数 (1月末現在)

- 市民活動登録団体..... 2,524団体
- 男女共同参画活動団体..... 56団体
- 消費者活動団体..... 30団体
- 環境活動団体..... 56団体

札幌市市民活動サポートセンターはNPOやボランティア活動などの市民活動を支援する拠点施設です。

震災支援

東日本大震災から5年。あの時、刻々と伝えられた現地の声や情景に、多くの方が「自分にできることは何か」と考えたのではないのでしょうか。札幌の市民活動団体もさまざまな支援活動を行い、そこからたくさんの交流が生まれて現在につながっています。だからこそ、今、できる支援を考えてみませんか。

若い世代こそ関心を持って教訓に

震災直後から、北海道の学生に東北の魅力や関心を持ってもらうために、現地ツアーをメインに活動しています。実際に東北に足を運び、現地の方から「震災の記憶が風化していく危機感がある」という話を聞きました。物資などの直接的な支援も大切ですが、関心を持つことが長期的な支援や応援に繋がると考え、現地の学生団体やNPO等と連絡を取り、文化や食べ物等を紹介するツアーを行っています。本当に求められる支援は、高齢化が進んでいる東北地方に住み、働いて活性化を手伝うことなのかもしれません。ですが、まずは震災を学び、それに関連して自分の住む地域について考える若者を増やさない、将来この教訓を活かすことができなくなってしまう。実際に現地に足を運ぶだけでも学ぶことは多くあり、ツアーに参加する前と後では心に変化が生まれます。今後の生活において、震災のことを忘れず、東北に思いを馳せる人を増やしていきたいと思っています。(椿さん、小林さん、田森さん、竹中さん)



北海道学生震災支援ネットワークHOSUP (ほさっぷ)
URL <http://hosup-tohoku.jimdo.com/>
メール hosup.net@gmail.com

海浜植物のレスキュー活動で交流

私はこれまで北海道内に植物の種を集め苗を育て、植栽してもとの風景に戻すといった「自然復元」を手がけていました。震災の一年後、津波で植生が失われたかと思われた東北の砂浜に海浜植物が育っているのを見て、得意な技術を活かし震災復興に関わりたいと思いました。東北の各地では防潮堤を以前よりも高く建設し、海が見えなくなってしまう所もありますが、地元の人が慣れ親しんだ海岸風景や自然を尊重して以前と同じ高さにした所や、未だ協議している所もあります。そんな中、「せっかく残った自然は復旧工事で壊さずに残したい」と海浜植物を守り育てる活動をしている方と繋がりました。今も大変な生活を送っている東北の方に代わり、北海道で苗を作って現地に植えるという活動をとおして現地の方との交流が生まれています。昨年は石狩市の中学生と一緒に現地で植栽しました。「自然復元」はタネ採りから育てるまでに1~2年かかります。すぐに結果の出るものではないけれど、今後も活動を続け、この交流を次の世代に残していきたいです。(木村 浩三さん)



北の里浜 花のかけはしネットワーク
Facebook <http://www.facebook.com/hamahirugao>
URL <http://hamahirugao.jimdo.com/> メール harunire147@gmail.com
フォーラムや種蒔き会の実施は、フェイスブックやホームページでお知らせしていきます。

背景写真提供: いしやまキャンドルプロジェクト<石山地区まちづくり協議会> URL: <http://ishiyama-candle-project.jimdo.com/>
東日本大震災の復興支援を目的に、震災発生直後からオリジナルキャンドルを制作・販売し、その売上金を寄付する活動を続けているボランティア団体。写真は石山緑地でのイベント「いしやまキャンドルナイト」より

福島子ども達の自然体験をサポート

札幌から車で約1時間半、余市の海を望む雄大な山々に囲まれた峠の途中にある山の家「きょうどう」は、福島の子どもの母や母子家族のための保養施設です(運営: 社会福祉法人札幌協働福祉会)。通年で母子家族の避難受け入れや移住支援を行い、夏と冬の長期休みに小・中学生対象の自然体験学校を実施しています。昨年、施設をより多くの人たちに知ってもらおうと当会を発足し、自然体験学校のボランティアスタッフの募集等も始めました。自然体験学習に参加する子ども達の半数はリピーターで、毎回とても楽しく過ごして帰って行きます。障がいを持ったお子さんも優先的に受け入れています。今では現地に保護者会まで「原発事故はマイナスだったけど、ここでこういう経験ができたことはプラスになった」と言っていました。放射能の問題は長期にわたる支援が必要なので、少なくとも10年以上は続けていきたいと思います。現地の方に元気になってもらうために何が出来るか考え、伝える努力をしていきたいと思います。(富塚 廣さん)



「山の家きょうどう」を支える会
電話 0135-34-7005 メール surjeyuki@ybb.ne.jp
ブログ「山の家通信」 <http://node0314.blogspot.jp/>
子ども達に体験やワークショップのプログラムを提供して下さる方も募集しています!

市民活動 ズームイン

編集ボランティアスタッフによる体験取材コーナーです!



●理にかなった「おひな巻き」に注目

包むのはモノに限りません。小さな赤ちゃんを風呂敷ですっぽり包んでしまう「おひな巻き」をご存知でしょうか。

一見、赤ちゃんの自由度が損なわれるように見えますが、包まれた赤ちゃんは安心しきった表情をします。お母さんのお腹の中にいる時と同じ、包まれているような感覚なのでしょう、ぐずり声もピタッと止みました。

生後4か月くらいまでの赤ちゃんは大きな音や急な刺激にびっくりして手足をびくつかせます。「おひな巻き」にすると手足の自由度を適度に保ちながら固定されるので赤ちゃんが安心するのだそうです。

目の前で「おひな巻き」を実践してくれたのは自ら子育てに風呂敷を使いこなす風呂敷術「結び屋 ゆいく」代表の智田さくらさん。包まれた赤ちゃんは智田さんの次女・万結ちゃんでした。

●大人用バッグも風呂敷で

基本の結び技をマスターすれば手提げ、ショルダー、ハンドバッグなど、写真のように風呂敷一枚で簡単に作ることができます。また普段使い以外にも旅行中のお土産を入れる専用バッグとしても使えます。素材、柄、大きさの組み合わせはほぼ無限大なので、世界に一つしかない「オリジナルバッグ」を持って外出してみませんか。



●風呂敷で荷物を減らす技

子育てママさんの悩みの一つに外出時の荷物の多さが挙げられます。

「少しでも荷物を減らしたいママに風呂敷は最適」と智田さんは言います。

専用の育児グッズを持つ代わりに、風呂敷が一枚あれば、授乳用ケープや、抱っこ紐の収納ケース、オムツ替えシート、抱っこスリング、チェアベルト、ベビーカーバッグ、日光に弱い赤ちゃんの日よけや雨よけ等々、その応用範囲は使う人の創意工夫で広がります。けして安くはないベビー用品は使用期間も短く、経済効率を考えると風呂敷のコストパフォーマンスは群を抜いています。

●体験を終えて

赤ちゃん同伴のワークショップは終始、和やかな雰囲気でした。「(子育てストレスを抱える)ママさん達の憩いの場になればと、活動を始めました。」智田さん自身の経験が活動の根っこにありました。子育てを終えた女性編集ボランティアスタッフの一人が「私も知っていれば楽だったのになあ…」と漏らした一言が印象的でした。

お問い合わせ先
メール: info.yuiku@gmail.com
URL: http://yuiku.themedia.jp

「おひな巻き」の動画が見られます
http://youtu.be/ieL80XeF158



今回、ご紹介するのは…

さっぽろ子育て風呂敷術「結び屋 ゆいく」

風呂敷・手ぬぐいと子育てを結び付けた活動を進めています。

風呂敷を使った子育て術

形や大きさにかかわらずなんでも自在に包んでしまう風呂敷。風呂敷は畳んでしまえば小さく形を変え、収納場所に困らないすぐれものです。



▲これも風呂敷です。首の後ろで結べば、赤ちゃんの日よけ・雨よけにもなります。



みんなの

Question & Answer

市民活動相談

最近寄せられた市民活動に関する相談をご紹介します。

Q1 気軽なボランティアから、いつしか責任ある役割を担うようになりました。前例にならい、忙しくしていますが、ふと「これでよいのか」と思うと、自信がありません。



市民活動相談員
滝口 香織さん
(さっぽろパブリックサポートネットワーク)

そう思うのは、よりよい活動を願うからこそですね。市民活動は「何をを目指すか」がとても大切です。規約等に書かれていても、ふだん意識に上らないかもしれませんが、しかし、団体の使命や理念を定期的にメンバーと共有し、実際の活動と照らし合わせて考えることは非常に重要です。この機会に、これまでの活動をふりかえり、今後の進むべき道をいま一度見直す時間をメンバーと持つとよいでしょう。あなたの迷いが払拭され、信念をもって活動を展開していく姿は、きっと周囲にも波及し、好循環を生み出していくと思います。

A1



参考図書

「新・共感のマネジメント」
ボランティア・テキストシリーズ
市民活動団体のリーダー、
スタッフに知ってほしい組織運営のポイント
著者:松本修一 大阪ボランティア協会

市民活動をしているなかで、判断に迷う場面は珍しくありません。それはもしかすると、組織運営についての知識や知恵不足からきているかもしれません。本書は、市民活動をしている人を対象に、人々の力を引き出すために必要な組織運営の考え方や方法を教えてくれます。



Q2 個人でNPO法人に寄附をしたのですが、所得税や住民税の控除になりますか?



税務・会計相談員
瀧谷 和隆さん
(税理士)

個人の方が一般のNPO法人に寄附をしても、所得税や住民税の控除対象にはなりません。仮に、認定NPO法人に対する寄附であれば、確定申告をすることで、一定限度額まで所得税や住民税の控除対象になります。なお、住民税については、認定NPO法人でなくても、各都道府県や市町村の条例で指定されたNPO法人であれば、一定額が控除の対象になることもありますので、お住まいの各都道府県や市町村に確認した方が良いでしょう。

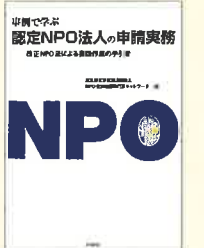
A2

参考図書

「認定NPO法人の申請実務」

著者:認定特定非営利活動法人NPO会計税務専門家ネットワーク
三和書籍出版

認定NPO法人制度の概要や優遇措置について分かりやすく解説しています。また、認定NPO法人になるための申請書類の作成方法等も具体的な事例を用いて記載しているので、認定NPO法人になることを検討している方にとっては役立つ一冊かと思えます。



このコーナーで紹介した図書は、札幌エルプラザ公共4施設1階の情報センターで借りることができます。

お知らせ

札幌市 所轄庁から ~マイナンバー制度開始に伴う留意点~

◆特定非営利活動(NPO)法人の申請・届出に添付いただく住民票等にはマイナンバー(個人番号)の記載のないものをご用意ください

マイナンバー(個人番号)は、社会保障、税、災害対策分野の中で、法律や条例で定められた行政手続のために利用されるものです。

特定非営利活動(NPO)法人の申請・届出は、マイナンバー(個人番号)を利用できない行政手続ですので、設立認証申請書や

役員変更等届出書に添付していただく住民票等は、マイナンバー(個人番号)の記載がないものをご用意ください。

もし、マイナンバー(個人番号)の記載がある住民票等を取付された場合は、マイナンバー(個人番号)の記載がないものを取り直していただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市市民活動促進担当課 TEL:011-211-2964
E-mail:shimin-support@city.sapporo.jp URL:http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/index-1.html

市民活動サポートセンターから

◆市民活動相談

活動経験豊富な「さっぽろパブリックサポートネットワーク」のメンバーが相談をお受けします。

相談日時 火曜～金曜日(祝日休) 15:00～18:00
会場 札幌市市民活動サポートセンター相談窓口

◆税務・会計相談

北海道税理士会所属の税理士が法人会計等の相談に無料でお答えします。

相談日時 平成28年3月28日(月) 17:00～20:00
※完全事前予約制です。予約は相談日の前週月曜日までをお願いします。

会場 札幌市市民活動サポートセンター相談窓口

◆市民活動フォーラム 「これからの地域社会に必要なつながりとは」

「貧困」をキーワードに、私たちの今後の地域や共助関係について考えるフォーラムを開催します。

日時 平成28年3月15日(火) 18:30～20:50
会場 札幌エルプラザ公共4施設 札幌市環境プラザ 環境研修室1・2

基調講演 藤田 孝典氏(特定非営利活動法人ほっとプラス代表理事)
パネリスト 平井 照枝氏(しんぐるまざあず・ふぉーむ北海道代表)
上田 文和氏(北海道の労働と福祉を考える会事務局長/
北海道大学法学部3年)

コーディネーター 河西 邦人氏(札幌学院大学経営学部教授)

参加費 800円

◆おためし!! 出展「Happy!ホワイトデー」

市民活動団体の日頃の取り組みや成果を発表するための出展企画です。ぜひお立ち寄りください。

日時 平成28年3月9日(水)～3月14日(月)
会場 札幌エルプラザ公共4施設 1階エントランスロビー

◆サロン事業「しみさぽつながるカフェ」 ～障がい者の自立支援、就労支援について考えませんか?～

日時 平成28年3月25日(金) 18:30～20:30
会場 札幌市市民活動サポートセンター 打合せコーナー

話題提供者 我妻 武氏(特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センターライフ理事長)
石澤 利巳氏(特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センターライフ専務理事)

※その他にも役に立つ情報をHPに掲載していますので、ご覧ください。HP:http://www.shimin.sl-plaza.jp